【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2004-15324(P2004-15324A)
【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-164646(P2002-164646)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｂ　10/10
　Ｇ０２Ｂ　17/00
　Ｇ０２Ｂ　26/08
　Ｈ０４Ｂ　10/105
　Ｈ０４Ｂ　10/22
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　 9/00　　Ｒ
　Ｇ０２Ｂ　17/00　　Ｚ
　Ｇ０２Ｂ　26/08　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月23日(2005.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　所定の情報信号で変調した光を射出する光源と、
　複数のミラーがマトリクス状に配置され、前記光源から射出された光を反射するミラーアレイユニットと、
　該ミラーアレイユニットを構成する各ミラーの向きを制御する制御手段とを有することを特徴とする光空間伝送装置。
【請求項２】
　前記制御手段による前記ミラーの向きを制御することにより、反射する光の広がり角、光のパターンおよび反射方向のうち少なくとも１つを変更することを特徴とする請求項１に記載の光空間伝送装置。
【請求項３】
　所定の情報信号で変調された光を受光する受光手段と、
　複数のミラーがマトリクス状に配置され、所定の情報信号で変調された光を前記受光手段に向けて反射するミラーアレイユニットと、
　該ミラーアレイユニットを構成する各ミラーの向きを制御する制御手段とを有することを特徴とする光空間伝送装置。
【請求項４】
　前記制御手段による前記ミラーの向きを制御することにより、反射する光の集光角、光のパターンおよび反射方向のうち少なくとも１つを変更することを特徴とする請求項３に記載の光空間伝送装置。
【請求項５】
　請求項１に記載の光空間伝送装置と、請求項３に記載の光空間伝送装置とを含むことを特徴とする光空間伝送システム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
【課題を解決するための手段】
上記の目的を達成するために、本願第１の発明の光空間伝送装置では、所定の情報信号で変調した光を射出する光源と、複数のミラーがマトリクス状に配置され、光源から射出された光を反射するミラーアレイユニットと、ミラーアレイユニットを構成する各ミラーの向きを制御する制御手段を有する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
また、本願第２の発明の光空間伝送装置では、所定の情報信号で変調された光を受光する受光手段と、複数のミラーがマトリクス状に配置され、所定の情報信号で変調された光を受光手段に向けて反射するミラーアレイユニットと、ミラーアレイユニットを構成する各ミラーの向きを制御する制御手段とを有する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
これにより、上記ミラーアレイユニットを構成する個々のミラーの向きを独立して変化させて、光源から射出された光の無駄な成分が少なくなるように、また複雑な機構を設けることなく、ミラーアレイユニットで反射する光の広がり角、集光角、パターン形状および反射方向を制御することが可能となる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
具体的には、図５に示すような状況下においては、受信側装置１１の微小ミラーアレイ１５には、図４に示すように、送信側装置１０からの光ビームが入射する領域５５と、太陽光等の不要光が入射する領域５６とができる。この場合、不要光が入射する領域５６の微小ミラー５７（図において濃い部分）をここで反射した光が受光素子１３に集光しないように受光素子１３以外の方向に向きを制御し、この不要光領域５６に含まれる微小ミラー５７を除いた微小ミラーにて受光素子１３に対する集光ミラーを構成する。